

ハンドブック ワンポイント レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

中学校の外部コーチをしている者です。先日の県大会で初めて目にした出来事です。マッチ中に、相手が打ったボールが体の近くに返球され、打ち返そうとしてラケットを振ったところボールホルダーに納めていたボールが落ち、相手から返球されたボールとボールホルダーから落ちたボールを同時に打ってしまっていたようです。その時、気がつくとボールホルダーは腰から外れてコート上に転がっていました。打ったボールは両方ともネットを越え相手方コートに返球していました。相手はどちらのボールを打っていいかわからず片方を打ち返しプレーは続いて、同時に2個ボールを打ったペアがポイントを得ました。このプレーは有効だったのでしょうか。

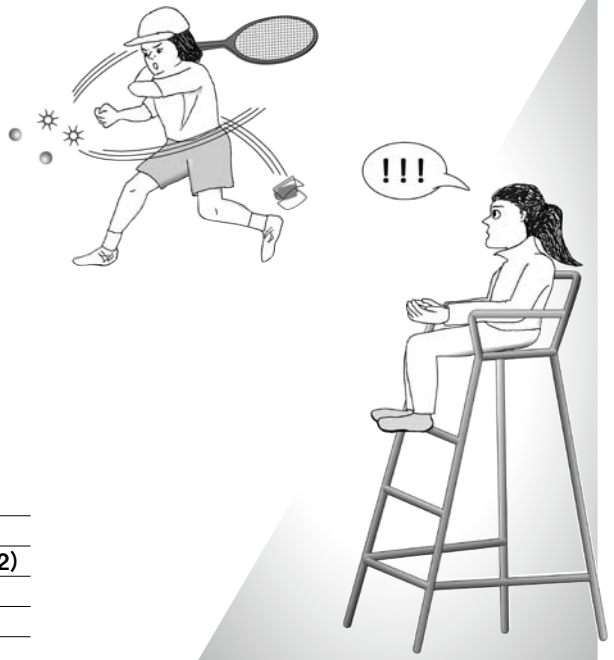
Answer

ラリー中のボールと身に着けていたボールを2個同時に打った場合はインターフェアになり失ポイントとなります。

とても珍しいケースですね。競技規則の第35条第12号に該当するケースで2個ボールを打ったペアがその時点で失ポイントとなります。今回の質問は、相手からの返球が体の近くにきたために、プレーヤーは自分のラケットを振る時に自分の身に着けていたボールホルダーに触れボールホルダーに納めていたボールが落ち、落ちたボールを相手方へ打ち返すボールと一緒に返球してしまったものと推察します。その時にボールホルダーも落ちていたということです。競技規則第25条(サービスのフォルト)第3号及び【解説】10の2の解釈から、身体に付けていたボールが落ちた事はポケットに入れていたボールと同じ扱いになります。競技規則第35条第10号から、ボールホルダーが落ちたことは、頭にかぶっていた帽子が落ちたのと同じで、罰則はありませんが、ボールホルダーが身体から落ちる時に直接ネット又はネットポストに触れた時はネットタッチになります。プレーヤーがコート又はアウトコートに落ちたものを手、足又はラケットで押しやったものが直接ネット又はネットポストに触れた場合は「ネットタッチ」及びそのマッチのアンパイヤー又は審判台に触れた場合「タッチ」(同条第11号)になります。

今回の様に2個のボールを同時に打ったことや、もしボールホルダーが相手方コートに入ると、第35条第12号の「明らかな打球妨害」に該当すると判断し「インターフェア」として打った時点で失ポイントになります。

ところで、ボールホルダーを何処に着けていたか、また、着け方がどうであったか不明ですが、ホルダーは腰の背面にしっかり固定し、外れないようにすることを生徒さんにご指導ください。



【関連規則】

競技規則第25条(サービスのフォルト)(3)、【解説】10の2

競技規則第35条(インプレーにおける失ポイント)(10)(11)(12)

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

11. ポイントを失うのはどんなときか? (14) (16) (17)